

福島第二原子力発電所 復旧計画の進捗状況について
(月報：平成 24 年 4 月)

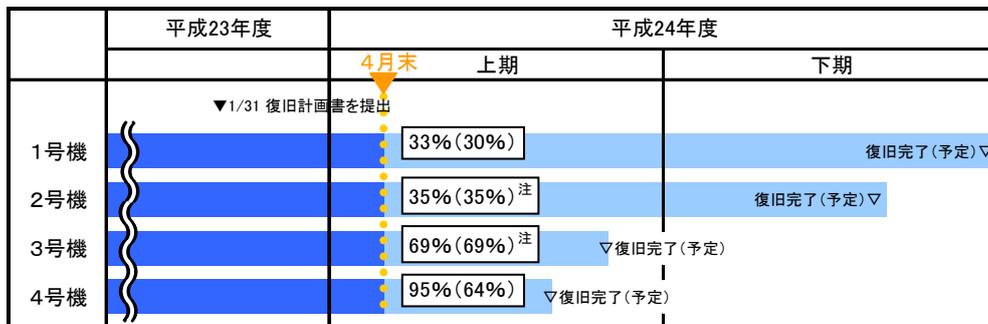
平成 24 年 5 月 9 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

福島第二原子力発電所では、現在、原子力事業者防災業務計画に基づき策定した復旧計画（平成 24 年 1 月 31 日提出・公表）に則り、プラントの冷温停止維持に係わる設備等の復旧を進めています。

平成 24 年 4 月末現在の復旧作業等の状況について、以下のとおりお知らせします。

1. 復旧計画の進捗状況

各号機の復旧作業は順調に進んでいます。



- 表中の％は、復旧計画に基づく復旧作業（本設化完了まで）の平成 24 年 4 月末時点の進捗割合。
（ ）内の％は前月末時点の同割合。詳細は資料 1 を参照。
- 本設化完了後に実施する社内検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしている（号機毎）。
- (注) 2、3号機は資料 1 の各ステップに変動がなかったため前月同様の進捗割合となっているものの、各種作業は順調に進捗している。

2. 復旧計画に基づく主な作業状況（4月）

○1号機電源盤（P/C 1C-1）の据付完了

東北地方太平洋沖地震に伴う津波の影響をうけた 1 号機電源盤（P/C 1C-1）については、新たに製作しておりましたが、平成 24 年 4 月 19 日に現場（原子炉建屋付属棟内）への据付が完了しました。【資料 1・資料 2 参照】

今後、電源盤（P/C 1C-1）について耐電圧試験等の機能確認を行うとともに、関連する各系統へ電源供給するためのケーブル本設復旧作業等を進めてまいります。

○1号機残留熱除去機器冷却海水系（B系）の機能確認完了

1 号機残留熱除去機器冷却海水系（B系）の電動機については、修理後、津波再来対策の一環として海水熱交換器建屋の 2 階に仮置きしておりましたが、同建屋の水密化対策工事が完了（平成 24 年 3 月 31 日）したことから、同年 4 月 5 日、同建

屋1階に戻し（現場据付）、同年4月12日、仮設の電源及びケーブルにて試運転を行い、機能に問題がないことを確認しました。【資料1・資料2参照】

今後、本設電源への切替えに向けてケーブル本設復旧作業等を進めてまいります。

○4号機残留熱除去機器冷却系，残留熱除去機器冷却海水系，非常用ディーゼル発電設備冷却系の本設化完了

4号機電源盤の本設化完了（P/C 4C-2：平成24年1月30日，P/C 4D-2：同年3月23日）に伴い、同年4月26日までに、4号機の残留熱除去機器冷却系（B系・C系・D系）、残留熱除去機器冷却海水系（B系・C系・D系）、非常用ディーゼル発電設備冷却系（B系）への電源供給元を仮設電源から本設化した電源盤に切り替えました。これにより、4号機の残留熱除去機器冷却系、残留熱除去機器冷却海水系、非常用ディーゼル発電設備冷却系の本設化が完了しました。【資料1・資料2参照】

3. その他の主な作業状況（4月）

○3号機原子炉格納容器内の目視点検完了

3号機原子炉格納容器内の目視点検については、平成24年4月5日までに完了しました。

その結果、原子炉冷却材の漏えいがなかったこと、また、原子炉格納容器内の各設備・機器・配管等に変形・損傷はなく、冷温停止機能に影響を及ぼすものはなかったことを確認しました。

なお、プラント停止後の一時的な高温環境の影響による原子炉格納容器内塗装面の一部はがれや、湿度環境等の影響による一部機器表面の錆等が見られたものの、いずれも冷温停止機能に影響を与えるものではありませんでした。（平成24年4月6日お知らせ済み）【資料3-1参照】

○4号機主排気ダクトの内部点検完了

4号機主排気ダクト内部点検を平成24年4月2日～13日にかけて実施しました。

この点検は、4号機主排気ダクトから外部への空気漏えい事象（平成23年6月8日、同年7月31日お知らせ済み）をふまえ、ダクト内部の状況を目視により確認したものです。この点検の結果、新たな不具合箇所は確認されませんでした。

加えて、平成24年4月19日～26日にかけて、当該ダクトの変位測定（ダクトのゆがみの状態等の測定）を行いました。これについては、今後、測定結果の評価・分析を行ってまいります。【資料3-2参照】

当社は、緊急事態解除宣言時に原子力安全委員会から示された4項目の留意事項*を踏まえ、引き続き、復旧計画に基づく原子力災害事後対策を進め、さらなる信頼性向上に努めてまいります。

なお、留意事項のうち4.については、平成24年3月末までに対象系統の抽出を行い、現在、各対象系統への影響についての評価を実施中です。

以上

※添付資料

- ・資料1 福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年4月末現在）
- ・資料2 <写真> 復旧計画に基づく主な作業状況（4月）
 - ・1号機電源盤（P/C 1C-1）の据付完了
 - ・1号機残留熱除去機器冷却海水系（B系）の機能確認完了
 - ・4号機残留熱除去機器冷却系、残留熱除去機器冷却海水系、非常用ディーゼル発電設備冷却系の本設化完了
- ・資料3-1 <写真> その他の主な作業状況（4月）
 - ・3号機原子炉格納容器内の目視点検完了
- ・資料3-2 <写真> その他の主な作業状況（4月）
 - ・4号機主排気ダクトの内部点検完了
- ・資料4 <写真> その他トピックス
 - ・1～4号機非常用ディーゼル発電機（D/G）12台の現況

* 原子力安全委員会から示された4項目の留意事項

平成23年12月26日、原子力安全委員会から内閣総理大臣に対して、当社福島第二原子力発電所に係る原子力緊急事態解除宣言を行っても差し支え無い旨の意見が示されるとともに、同宣言を行うにあたっての留意事項が示された。また、平成24年1月11日、経済産業省原子力安全・保安院から、福島第二原子力発電所の復旧計画の策定及びその実施にあたっては、当該留意事項について対応するよう指示があった。

1. 福島第二原子力発電所の一部の設備については、仮設設備となっており、これらの設備について適切に維持管理を行うこと。また、計画的に仮設設備の依存度を下げること。
2. 残留熱除去系の一部等の安全設備が復旧していないことから、それらが復旧するまでの間、状況に応じて適切な管理を行うこと。また、自然災害等に備えて、更なる安全確保に万全を期すこと。
3. 作業員の安全を含め安全管理に徹底を期すこと。
4. 冷温停止にいたるまでに、通常時と異なる圧力・温度等の履歴があったことを踏まえ、施設に対するこれらの影響を検討すること。

進捗に係わる各ステップの日付の定義は以下のとおり。

- 撤去 → 対象設備を取り外し、搬出が完了した日
- 発電所搬入 → 対象設備の工場修理（新規製作）後、構内の設置建屋への搬入が完了した日
- 現場据付 → 対象設備をすべて架台に設置完了した日
- 機能確認 → 対象設備単体が復旧し、系統として機能することを確認した日
(例) 電源盤であれば受電した日、設備であれば系統復旧後（電源除く）の試験運転を実施し問題ないことを確認した日 等
- 本設切替 → 仮設から本設に切り替えた日（主に電源）
- 本設化完了予定 → 本設化完了の予定時期（完了したものは、完了日）

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年4月末現在）

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	備考
6. 9kV 電源系		C系 電源盤 (M/C 1C) 新規製作	H23.10.31	H24.3.15	H24.3.28			H24. 上期	
		H系 電源盤 (M/C 1HPCS) 新規製作						H24. 下期	
480V 電源系		C-1系 電源盤 (P/C 1C-1) 新規製作	H23.12.7	H24.4.13	H24.4.19			H24. 上期	
		C-2系 電源盤 (P/C 1C-2) 新規製作	H23.11.11					H24. 上期	
		D-2系 電源盤 (P/C 1D-2) 新規製作	H23.12.14					H24. 上期	
非常用ディーゼル発電設備	制御盤関係	A系 新規製作						H24. 下期	
	発電機	A系 新規製作及び修理	H23.8.29					H24. 下期	
	ディーゼル機関	A系 修理						H24. 下期	
	補助設備	A系 新規製作及び修理	H24.1.23					H24. 下期	
	制御盤関係	H系 新規製作	H23.11.15					H24. 下期	
	発電機	H系 新規製作及び修理	H23.10.19					H24. 下期	
	ディーゼル機関	H系 修理						H24. 下期	
	補助設備	H系 新規製作及び修理	H24.1.23					H24. 下期	
直流電源	充電器	H系 新規製作	H23.9.16					H24. 下期	
	蓄電池	H系 新規製作	H23.6.3					H24. 下期	
地震計		新規製作・取替						H24. 下期	
低圧炉心スプレイ系		高圧電源(M/C 1C)系及びケーブルの復旧						H24. 上期	

凡例： ■:実施中, 点検中, 修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年4月末現在）

1号機

凡例： ■:実施中, 点検中, 修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備	作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	備考
残留熱除去系	A系 高圧電源(M/C 1C)系及びケーブルの復旧				H23.11.17		H24. 上期	
	C系 高圧電源 (M/C 1C)系及びケーブルの復旧						H24. 上期	
残留熱除去機器冷却系	A系 電源 (P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.10.26	23.10.27	H23.11.9		H24. 下期	
	B系 電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.20	H23.9.21	H23.9.26		H24. 上期	
	C系 電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
	D系 電源 (P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.20	H23.9.20	H24.3.15		H24. 上期	
残留熱除去機器冷却海水系	A系 電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.5	H23.11.2	H23.11.11		H24. 下期	
	B系 電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧			H24.4.5	H24.4.12		H24. 上期	
	C系 電源 (P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.5				H24. 下期	
	D系 電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧			H24.1.6	H24.1.12		H24. 上期	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系 電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.10.26	H23.10.27	H23.11.4		H24. 下期	
	B系 電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.11.22	H23.11.25	H23.11.26		H24. 上期	
原子炉冷却材浄化系	A系 電源(P/C 1C-1)系及びケーブルの復旧及びパージライン本設化						H24. 下期	
	B系 パージライン本設化						H24. 上期	
高圧炉心スプレイ系	高圧電源(M/C 1HPCS)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
高圧炉心スプレイ系補機冷却系	高圧電源(M/C 1HPCS)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
高圧炉心スプレイ系補機冷却海水系	高圧電源(M/C 1HPCS)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
原子炉補機冷却系	A系 電源 (P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
	B系 電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.2	H23.7.4	H23.7.14		H24. 上期	
復水補給水系	A系 電源 (P/C 1C-1)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
非常用ガス処理系	A系 電源 (P/C 1C-1)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	

*M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で気中遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*パージライン：原子炉冷却材浄化系ポンプの封水ライン

現在の進捗状況の割合は **33%** です。(前月30%)

注)進捗状況の割合=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施する社内検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年4月末現在）

2号機

凡例: ■:実施中, 点検中, 修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	備考
480V 電源系	C-2系	電源盤(P/C 2C-2)新規製作						H24.下期	
	D-2系	電源盤(P/C 2D-2)新規製作						H24.下期	
残留熱除去機器冷却系	A系	電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧				H23.8.6		H24.下期	
	B系	電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.14		H24.下期	
	C系	電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧						H24.下期	
	D系	電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.24		H24.下期	
残留熱除去機器冷却海水系	A系	電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.28	H23.7.28	H23.8.6		H24.下期	
	B系	電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧		H24.3.1				H24.下期	
	C系	電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.2				H24.下期	
	D系	電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.12	H23.9.12	H23.10.12		H24.下期	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系	電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.26	H23.7.26	H23.8.3		H24.下期	
	B系	電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.14		H24.下期	
原子炉補機冷却系	A系	電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧						H24.下期	
	B系	電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧		H23.6.28	H23.6.28	H23.7.12		H24.下期	
原子炉冷却材浄化系	A系	パージライン本設化						H24.上期	
	B系	パージライン本設化						H24.上期	
高圧炉心スプレイ系補機冷却海水系		電動機新規製作	H23.9.2					H24.上期	

*M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
 *P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で磁中遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
 *パージライン: 原子炉冷却材浄化系ポンプの封水ライン

現在の進捗状況の割合は **35%** です。(前月35%)
 注)進捗状況の割合=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100
 ※本設化完了後に実施する社内検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。
 ※本表の各ステップに変動がなかったため前月同様の割合となっているものの、各種作業は順調に進捗しています。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年4月末現在）

3号機

凡例： ■:実施中, 点検中, 修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	備考
480V 電源系	C-2系	電源盤(P/C 3C-2)新規製作	H23.9.15	H24.1.26	H24.1.27			H24.上期	
残留熱除去機器冷却系	A系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.2	H23.8.3	H23.8.26		H24.上期	
	C系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.29	H23.8.30	H23.9.9		H24.上期	
残留熱除去機器冷却海水系	A系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.24	H23.8.24	H23.8.30		H24.上期	
	C系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.5	H23.9.7	H23.9.14		H24.上期	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.2	H23.8.3	H23.8.23		H24.上期	
原子炉冷却材浄化系	A系	パーシライン本設化						H24.上期	
	B系	パーシライン本設化						H24.上期	

*M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で気中遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*パーシライン：原子炉冷却材浄化系ポンプの封水ライン

現在の進捗状況の割合は **69%** です。(前月69%)

注)進捗状況の割合=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施する社内検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。
 ※本表の各ステップに変動がなかったため前月同様の割合となっているものの、各種作業は順調に進捗しています。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年4月末現在）

4号機

凡例： ■:実施中, 点検中, 修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	備考
480V 電源系	C-2系	電源盤(P/C 4C-2)新規製作	H23.9.7	H23.12.2	H23.12.9	H24.1.30		H24.1.30	
	D-2系	電源盤(P/C 4D-2)新規製作	H23.9.30	H24.2.28	H24.3.8	H24.3.23		H24.3.23	
残留熱除去機器冷却系	A系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.8	H23.7.8	H23.7.25	H24.2.24	H24.2.24	
	B系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.5	H23.7.5	H23.7.7	H24.4.11	H24.4.11	
	C系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H24.4.19	H24.4.19	H24.4.26	H24.4.26	H24.4.26	
	D系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.5	H23.9.5	H23.9.29	H24.4.12	H24.4.12	
残留熱除去機器冷却海水系	A系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.27	H23.7.27	H23.8.2	H24.2.24	H24.2.24	
	B系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.7	H23.9.7	H23.9.21	H24.4.11	H24.4.11	
	C系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.27	H24.4.18	H24.4.26	H24.4.26	H24.4.26	
	D系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H24.4.17	H24.4.17	H24.4.25	H24.4.25	H24.4.25	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.8	H23.7.8	H23.7.21	H24.2.24	H24.2.24	
	B系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.14	H24.4.12	H24.4.12	
原子炉冷却材浄化系	A系	パージライン本設化						H24.上期	
	B系	パージライン本設化						H24.上期	

*M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
 *P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
 *パージライン：原子炉冷却材浄化系ポンプの封水ライン

現在の進捗状況の割合は **95%** です。(前月64%)
 注)進捗状況の割合=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100
 ※本設化完了後に実施する社内検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年4月末現在）

共通設備		凡例: ■:実施中,点検中,修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外 日付は終了(完了)日を記入 ■:前回の月報からの更新箇所						
対象設備	点検内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	備考
放水口モニタ	1・2号	新規製作・取替					H24.下期	
	3・4号	新規製作・取替					H24.上期	

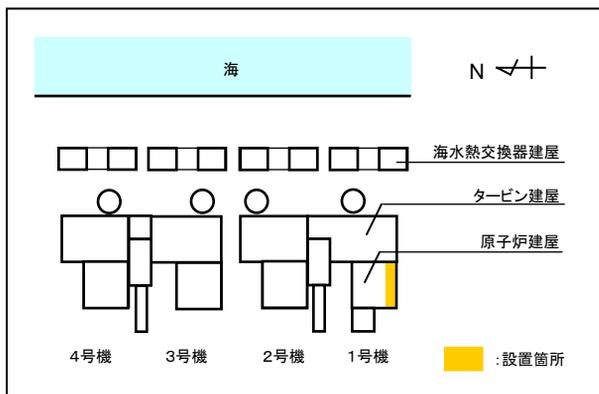
現在の進捗状況の割合は **0%** です。（前月0%）

注)進捗状況の割合=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施する社内検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。

● 1号機 電源盤（P/C 1C-1）の据付完了

東北地方太平洋沖地震に伴う津波の影響を受けた1号機電源盤（P/C 1C-1）については、新たに製作しておりましたが、平成24年4月19日に現場（原子炉建屋付属棟内）への据付が完了しました。



①電源盤(P/C 1C-1)の吊込作業
(原子炉建屋付属棟の開口部から搬入)
(平成24年4月13日撮影)



②電源盤(P/C 1C-1)の吊込作業
(開口部から吊下げ)
(平成24年4月13日撮影)



③吊下げ後の電源盤(P/C 1C-1)移動作業
(平成24年4月13日撮影)



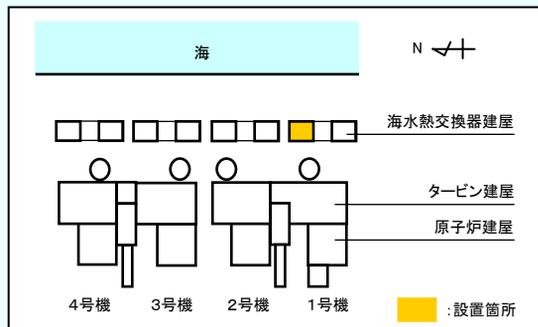
④電源盤(P/C 1C-1)据付完了
(平成24年4月19日)
(平成24年4月23日撮影)

● 1号機 残留熱除去機器冷却海水系（B系）の機能確認完了

1号機残留熱除去機器冷却海水系（B系）の電動機は、修理後、津波再来対策の一環として、海水熱交換器建屋の2階に仮置きしておりましたが、同建屋の水密化対策工事完了（平成24年3月31日）をうけ、同年4月5日、同建屋1階に戻し（現場据付）、同年4月12日、仮設の電源及びケーブルにて試運転を行い、機能に問題がないことを確認しました。



①残留熱除去機器冷却海水系(B系)
電動機の移動作業
(海水熱交換器建屋2階から1階へ)
(平成24年4月5日撮影)



②残留熱除去機器冷却海水系(B系)
電動機の据付作業
(平成24年4月5日撮影)



③電動機据付後の機能確認
(試運転時の温度測定)
(平成24年4月12日撮影)



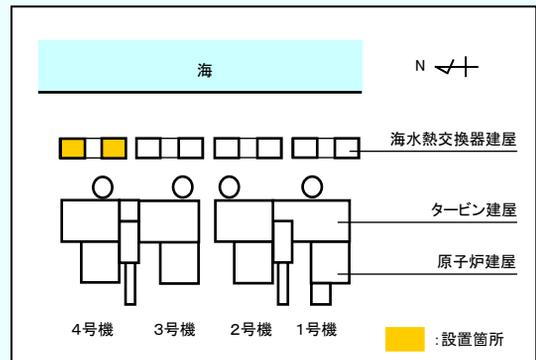
④電動機据付後の機能確認
(試運転時の振動測定)
(平成24年4月12日撮影)

● 4号機 残留熱除去機器冷却系, 残留熱除去機器冷却海水系, 非常用ディーゼル発電設備冷却系の本設化完了

4号機電源盤の本設化完了 (P/C 4C-2:平成24年1月30日, P/C 4D-2:同年3月23日) に伴い、同年4月26日までに、4号機 残留熱除去機器冷却系(B系・C系・D系), 残留熱除去機器冷却海水系(B系・C系・D系), 非常用ディーゼル発電設備冷却系(B系)への電源供給元を仮設電源から本設化した電源盤に切り替えました。これにより、4号機 残留熱除去機器冷却系, 残留熱除去機器冷却海水系, 非常用ディーゼル発電設備冷却系の本設化が完了しました。



電源盤 (P/C 4D-2) の本設化完了
(平成24年3月23日)
(平成24年3月23日撮影)



残留熱除去機器冷却系ポンプ (B) 電動機
本設ケーブルへの切り替え状況
(平成24年4月11日切替・撮影)



残留熱除去機器冷却系ポンプ (C) 電動機
本設ケーブルへの切り替え状況
(平成24年4月26日切替・撮影)



残留熱除去機器冷却系ポンプ (D) 電動機
本設ケーブルへの切り替え状況
(平成24年4月12日切替・撮影)



残留熱除去機器冷却海水系ポンプ (B) 電動機
本設ケーブルへの切り替え状況
(平成24年4月11日切替・同年5月8日撮影)



残留熱除去機器冷却海水系ポンプ(C)電動機
本設ケーブルへの切り替え状況
(平成24年4月26日切替・撮影)



残留熱除去機器冷却海水系ポンプ(D)電動機
本設ケーブルへの切り替え状況
(平成24年4月25日切替・撮影)



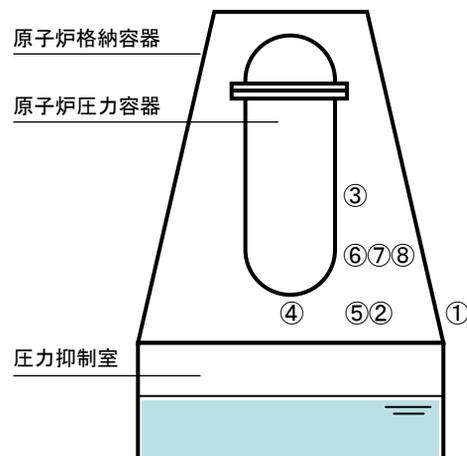
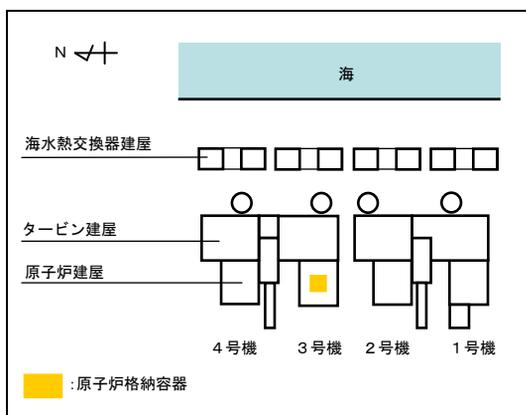
非常用ディーゼル発電設備冷却系ポンプ(B)電動機
本設ケーブルへの切り替え状況
(平成24年4月12日切替・撮影)

● 3号機 原子炉格納容器内の目視点検完了

- ・ 3号機原子炉格納容器内の目視点検を平成24年4月5日までに完了しました。
- ・ その結果、原子炉冷却材の漏えいがなかったこと、また、原子炉格納容器内の各設備・機器・配管等に変形・損傷はなく、冷温停止機能に影響を及ぼすものはなかったことを確認しました。
- ・ プラント停止後の一時的な高温環境の影響による原子炉格納容器内塗装面の一部はがれや、湿度環境等の影響による一部機器表面の錆等が見られたものの、いずれも冷温停止機能に影響を与えるものではありませんでした。（平成24年4月6日お知らせ済み）

<点検実績（平成24年4月末現在）>

1号機	平成23年12月27日	～	平成24年2月28日	[目視点検完了]
2号機	平成24年3月6日	～		[目視点検実施中]
3号機	平成24年2月14日	～	平成24年4月5日	[目視点検完了]
4号機	平成23年8月29日	～	平成23年12月21日	[目視点検完了]



○ 主な目視点検設備



①原子炉格納容器入口
(人員用エアロック)
(平成24年4月17日撮影)



②原子炉格納容器内の状況
(平成24年4月17日撮影)



③原子炉格納容器内の状況
(平成24年4月17日撮影)



④ペDESTAL部
(原子炉圧力容器の基礎台)
(平成24年4月17日撮影)



⑤原子炉再循環ポンプ
(平成24年4月17日撮影)



⑥主蒸気隔離弁
(平成24年4月17日撮影)

○ 確認された主な不具合箇所（平成24年4月6日お知らせ済み）



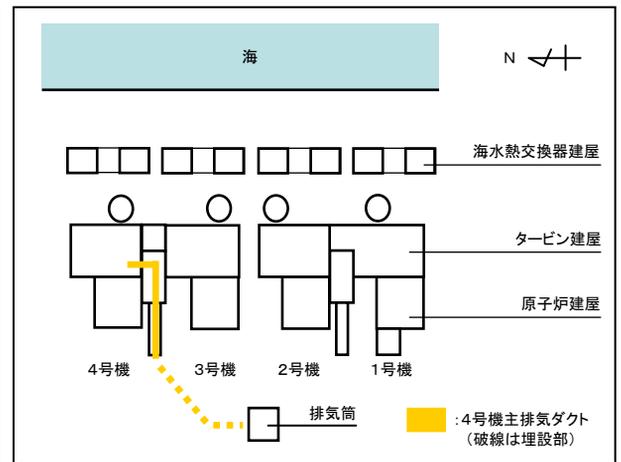
⑦原子炉格納容器内面の塗装剥離
(平成24年3月28日撮影)



⑧原子炉再循環ポンプ（B）
スタッドボルトの錆
(平成24年2月16日撮影)

● 4号機 主排気ダクトの内部点検完了

- ・ 4号機主排気ダクト内部点検を平成24年4月2日～13日にかけて実施しました。
- ・ 同点検は、当該ダクトから外部への空気漏えい事象（平成23年6月8日、同年7月31日お知らせ済み）をふまえ、ダクト内部の状況を目視により確認したものです。点検の結果、新たな不具合箇所は確認されませんでした。
- ・ 加えて、平成24年4月19日～26日にかけて、当該ダクトの変位測定（ゆがみの状態等の測定）を行いました。今後、測定結果の評価・分析を実施します。



①4号機主排気ダクトの外観
(平成24年4月5日撮影)



②主排気ダクト点検口
(平成24年4月5日撮影)



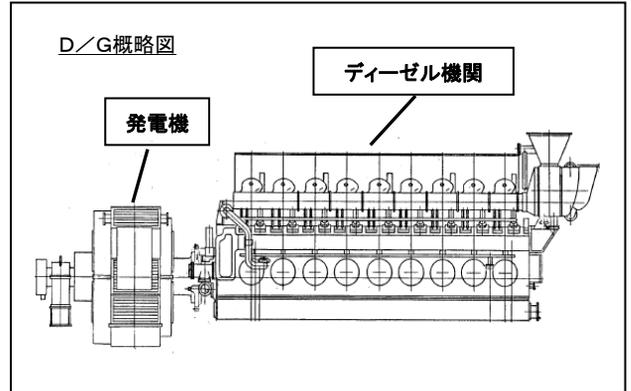
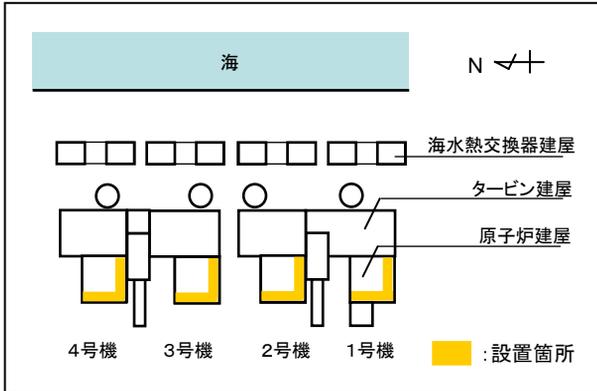
③主排気ダクト内部点検
(平成24年4月5日撮影)



④主排気ダクトの変位測定
(平成24年4月19日～26日)
(平成24年4月24日撮影)

● 1～4号機非常用ディーゼル発電機(D/G) 12台の現況

- ・ 1～4号機の非常用ディーゼル発電機(以下、D/G)本体は、各号機の原子炉建屋付属棟地下2階に3台ずつ設置されています。
- ・ 東北地方太平洋沖地震に伴う津波では、1号機D/G(A, B, H)の3台すべてが浸水しましたが、2～4号機のD/G(A, B, H)は全台が浸水を免れました。
- ・ 浸水を免れたD/Gは、3号機D/G(B, H)と4号機D/G(H)を除き、海水熱交換器建屋内の電源盤や補機ポンプ等が浸水したことにより使用不能となりましたが、順次、設備の復旧が完了し、現在、1号機D/G(A, H)と2号機D/G(H)を除く9台が待機状態(使用可能)となっています。



D/Gの津波による浸水の影響と現況(表)

設備	系統	1号機			2号機			3号機			4号機		
		浸水有無	津波直後の状況	H24.4末現在の状況									
非常用ディーゼル発電機	A	有	×	×	無	×	○ H23.8.8復帰	無	×	○ H23.8.31復帰	無	×	○ H23.8.3復帰
	B	有	×	○ H23.7.15復帰	無	×	○ H23.3.14復帰	無	○	○	無	×	○ H23.3.14復帰
	H	有	×	×	無	×	×	無	○	○	無	○	○

凡例：○:使用可、×:使用不可

● 浸水した1号機D/G(A, H) 復旧作業の状況



1号機D/G(A) 浸水後の状況
(平成23年3月20日撮影)



1号機D/G(A) 復旧作業の状況
(平成24年4月17日撮影)



1号機D/G(H) 浸水後の状況
(平成23年3月20日撮影)



1号機D/G(H) 復旧作業の状況
(平成24年4月17日撮影)

●設備の復旧が完了し、待機中の非常用ディーゼル発電機（各号機代表機器を掲載）



1号機D/G(B) (平成24年4月20日撮影)

津波により、D/G本体が浸水し使用不能となるが、H23. 7. 15に復帰し、現在は待機状態。



2号機D/G(A) (平成24年4月20日撮影)

D/G本体は浸水を免れたが、海水熱交換器建屋内の電源盤や補機ポンプ等が浸水したことにより、津波直後、使用不能となる。その後、H23. 8. 8に復帰し、現在は待機状態。



3号機D/G(A) (平成24年4月17日撮影)

D/G本体は浸水を免れたが、海水熱交換器建屋内の電源盤や補機ポンプ等が浸水したことにより、津波直後、使用不能となる。その後、H23. 8. 31に復帰し、現在は待機状態。



4号機D/G(A) (平成24年4月17日撮影)

D/G本体は浸水を免れたが、海水熱交換器建屋内の電源盤や補機ポンプ等が浸水したことにより、津波直後、使用不能となる。その後、H23. 8. 31に復帰し、現在は待機状態。